

Title	第7回「ベスト・プレゼンテーション賞」の授賞
Sub Title	
Author	
Publisher	三田図書館・情報学会
Publication year	2013
Jtitle	Library and information science No.70 (2013. ) ,p.226- 226
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003152-00000070-0226">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003152-00000070-0226</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 第7回 「ベスト・プレゼンテーション賞」の授賞

2007年度研究大会から「ベスト・プレゼンテーション賞」を新設しました。これは、研究大会における口頭発表について、優れた発表者を選び表彰するものです。

発表者は、口頭発表では、決められた時間の中で、研究の内容を正確に伝え、また、聞き手にわかりやすいよう細部まで行き届いた配慮をし、説明する必要があります。こうしたプレゼンテーションに対する意識を高めること、さらにその技術の向上を目指してこの賞を設けました。

2013年度の対象者は学生としての所属を明示した登壇発表者（大学院生など）とし、研究内容とプレゼンテーション技法の両方の評価に基づく投票を行いました。なお、2007年度から2011年度までは発表者全員を対象とし、発表の内容ではなく、プレゼンテーション技法を評価の対象としました。

この賞の受賞者は、研究大会の参加者の投票によって選ばれます。開票後、決定した受賞者名は、三田図書館・情報学会ウェブサイトとLibrary and Information Science誌上で発表し、後日、賞品を授与しています。発表スライドのPDF版を学会ウェブサイトから閲覧できます。

### 2013年度ベスト・プレゼンテーション賞受賞者

池内 有為（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科）

発表題目：研究データ公開に関する学術雑誌のポリシー分析

25票の投票があり、池内有為君が16票を得て1位となりました。主な投票理由は、話す速度が適切でわかりやすかった、テーマの意義が高い、スライドが見やすくまとめられていた、などです。